

ふれあい情報

2018年1月9日(火) 第271号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 菅井義夫
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

低所得高齢者用住宅の確保へ

「改正住宅セーフティネット法」スタート

昨年10月25日から高齢者や低所得者向けに民間の空き家や空き部屋を賃貸住宅として活用する制度がスタートしました。4月に成立した「改正住宅セーフティネット法」(国土交通省)にもとづく制度です。退職者連合は、2014年から「低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度要求」として居住の継続が困難な状態にある低所得高齢者とりわけ低所得高齢単身女性に対し、一定の質が担保された住居の確保など、国・地方自治体に対し、その実現を強く求めてまいりました。

実施状況はネットの専用ページで検索を

改正法のポイントは、空き家などの所有者が高齢者や低所得者などの入居を拒まない物件を自治体に登録し、住居を希望する人が、それらの物件を国がインターネット上に開設した専用ページ「住宅セーフティネット(情報提供システム)」で検索できるようにしていることです。

活用方法では、高齢者の生活支援などを行っているNPO法人などを自治体が「居住支援法人」に指定し、住宅情報の提供や見守りサービスの紹介、家賃の債務保証などの支援を実施。また、登録住

宅として活用される空き家には、耐震改修やバリアフリーなどを行う場合、1戸当たり最大200万円の助成金が支給されます。さらに制度を利用して住宅を決めた低所得者(月収15万8千円以下)



写真は、京都(上)と静岡(下)で登録されているセーフティネット住宅の様子。



には、月額最大4万円の家賃補助や、契約の際に必要な家賃の債務保証料を最大6万円まで助成する、というものです。

「家主の6割が入居を拒否」という現実

低所得高齢者の住居の確保問題は深刻です。2015年には59.3万世帯であった65歳以上の単身者世帯が、2035年には76.2万世帯に増加すると

いわれています。

しかも現在、160万を超える生活保護受給世帯の約5割が借家住まいです。それに対して貸し手である家主の側の6割が低所得者の入居に拒否感をもっているという調査結果があります。

制度はスタートしたばかりです。自治体の積極的なPR活動など、退職者連合として今後実施する自治体要請の中で制度を実効あるものにする取り組みを行なっていく必要があります。

実効ある制度にするため、地域での取り組みはじめよう!

なお、全国の自治体の実施状況もインターネット上に開設した専用ページ「住宅セーフティネット」で検索してください。

ホームページは退職者連合で検索を

退職者連合

検索

始まった元気な地域活動

連合岡山退職者連合

暮らしの場である地域において“いきいきと安心して暮らしていく”ために「生きがいつくり、健康寿命づくり、仲間づくり、地域づくり(社会貢献・ボランティア活動)」の4つのお達者づくりを退職者連合は呼び

かけています。全国に176ある退職者連合の地域組織(地域・地区協議会)では、知恵を出し合って様々な取り組みが始まっています。岡山退職者連合の取り組みを紹介します。

元気はつらつ、施設訪問ボランティア

演技者は会員から公募

訪問した施設で演技を披露するのは、もちろん岡山退連の会員のみなさんです。岡山退連と3つの地域退連では、毎年、演技をしてくれる方を公募しています。産別・関連退連の協力を得て多くの会員の方々が協力してくれています。

出演者は、日頃から鍛えた腕前を披露したり、入所者のみなさんと一緒に歌ったりもします。そういう時は必ず入所者の皆さんは、目を輝かせ、声が一段と大きくなります。演技者の皆さんも元気を与えると同時に、元氣

をもらっています。

訪問した後、必ず、特別養護老人ホームの施設長様から、お礼のお手紙を頂くのですが、一番感激した事は、ある特別養護老人ホーム施設へ入所している方が、入所以来、全く表情を顔にあらわさなかったのに、ニッコリ笑って声を出して、演技者の皆さんの歌に合わせて歌っていた様子をお便りに書いてお礼のお手紙をもらった事です。

演奏に合わせて唄を口ずさむ

(北部退連の施設訪問)



▲主催者を代表してあいさつする岡山退連の山田勇夫事務局長。(2017年11月9日、津山市)



▲マジックを披露する「国公総連退職者会」の黒石公史さん。たくさんの拍手をいただく。(同)

2017年11月9日(木) 14時から特別養護老人ホーム「のどか」(津山市)を訪問した岡山退連北部地域退連の活動を紹介します。この日、出演者は、43人の入所者の方々の前でマジックの披露とチンドンゆばらの公演を行いました。まず、国公総連退職者会の会員の黒石公史さんがマジック披露で拍手を頂き、続いてチンドン「ゆばら」(自治退)の公演では、昔懐かしい歌謡曲などの演奏を行い、入所者の皆様も演奏に合わせて唄を口ずさんでいました。訪問活動では、入所者の皆様が元気になっていただく事はもちろんですが、私たちも元気をもらっています。健康寿命を平均寿命に近づけるために今後も頑張りたいと思います。

(報告) 岡山退連 会長 新見三郎



▲チンドン「ゆばら」(自治退のメンバー5人)の公演では、昔懐かしい歌謡曲などの演奏を行った。(同)